

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療マネジメント概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	須崎 正敏	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
日本における臨床工学技士の誕生から将来についての可能性について学生自信に考えてもらう機会を提供するだけでなく、現代の医療ならびに病院における臨床工学技士の役割や学生自信の可能性とリスクについて学ぶことを目的としている。					
《成績評価の方法と基準》					
・レポート70%、出席と授業態度30%で評価を行う。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
・テキスト:プリント講義 ・参考書:厚生労働白書(年度版) 国民衛生の動向(年度版) 病院職員読本					
《授業外における学習方法》					
最初に病院の現在の組織体制について学び、臨床工学技士が病院の中でどのように評価され、今後どのように発展していく可能性があるかについて、歴史的なことも加味しながら学んでいく。また、病院経営やリスクマネジメントにおいて臨床工学技士が果たせる役割や可能性についても言及する。現状を把握しながら、学生自信働きたときにどう働いていけばよいかを模索し、考えてもらう機会を設ける。					
《履修に当たっての留意点》					
・臨床工学技士として働くにあたって、自分たちの目指した臨床工学技士という職種に関して、各個人がそれぞれいろんな可能性を発見してくれれば幸いである。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	・将来、臨床工学技士として働くことになる病院のこと、医療の業界のことを一つでも多く知ること为目标とする。		初回は特に準備は要らないが医療の業界と臨床工学技士に興味を持つこと。
		各コマにおける授業予定	・病院の設立主体、医療法上の類型、介護保険上の適用施設、医療施設のその他の機能、病院の地域連携とマーケティングに付いて説明する。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	・自分たちが取得しようとしている日本における臨床工学技士の歴史認識をしっかりと持つことを目標とする。		前回は配布した資料を必ず読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	・臨床工学の理念、その歴史と諸外国の例、臨床工学技士法が制定される前の病院のCE部門の実態と三井記念病院、北里大学病院の例について説明する。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	・医療のケア・サービスの質・安全を保証・向上するシステムを確立し、革新の達成を継続することの重要性について説明できる。		前回は配布した資料を必ず読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	・医療経営の礎として質・安全と効率を向上させるシステムの確立と継続改善、組織文化について説明する。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	・協調・連携を促進し、医療にかかわる地域全体への責任体制の向上、データ活用必要性について説明できる。		前回は配布した資料を必ず読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	・医療経営の礎として地域と経営戦略、データの活用、人材の養成について説明する。		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置について説明できる。		前回は配布した資料を必ず読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	・経営改善のモデルである独立行政法人国立病院機構の歴史と目標、計画の現状と意味について紹介する。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	・業務運営の効率化に関する目標を達成するために取るべき措置について理解し、計画、目標、報告が公にされていることの意味を説明できる。		前回到配布した資料を必ず読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	・独立行政法人国立病院機構の具体的な最新の単年度目標、単年度計画を紹介すると共に中期目標、中期計画さらに報告についても紹介する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	・将来、自分が臨床工学技士として専門としたい業務に関連する認定資格にはどのようなものがあり、どうすれば取得できるかを理解する。		前回到配布した資料を必ず読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	・専門認定資格の歴史、意義、種類と現状について紹介すると共にその取得の重要性について説明する。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・臨床工学技士という国家資格が従来の医療国家資格とどの様に異なり、またどういうところが同じなのかをしっかりと認識する。		前回到配布した資料を必ず読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	・最後に自分が取得する臨床工学技士という国家資格の現状と問題点、さらに将来性についてみんなで考える機会を与える。		